

会社概要

商号	株式会社和井田製作所 (英文社名: WAIDA MFG. CO., LTD.)
所在地	〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地
設立	1946年10月22日
資本金	8億4,330万円
従業員数	166名(連結) 135名(単体)
連結子会社	ジャパン・イー・エム株式会社 和井田友嘉精機股份有限公司(台湾)

役員

代表取締役会長兼社長	和井田 光 生
代表取締役副社長	久保 朝 義
取締役	洞口 秀 臣
取締役	藤井 啓 太
取締役	森下 博
取締役(監査等委員)	田村 孝 至
取締役(監査等委員)	渡邊 一 (弁護士)
取締役(監査等委員)	山下 英 一 (税理士)

(注) 渡邊一氏及び山下英一氏の両名は、社外取締役であります。  
両名を独立役員として指定し、東京証券取引所に届け出ております。

株式の状況

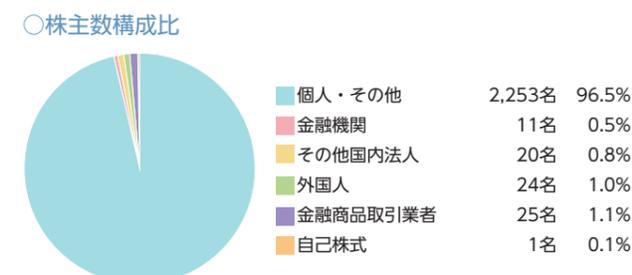
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,028,000株(自己株式599,349株を含む)
株主数	2,334名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
和井田 俣生	430,060	6.68
和井田 光生	426,500	6.63
株式会社十六銀行	321,300	4.99
株式会社三菱UFJ銀行	321,000	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	274,900	4.27
和井田 叔子	250,000	3.88
大藪 崇	227,300	3.53
和井田製作所従業員持株会	151,600	2.35
畦地 徹	128,200	1.99
祓川 創	122,700	1.90

(注) 持株比率については、自己株式(599,349株)を控除して算出しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
公告方法	電子公告 アドレス: <a href="https://www.waida.co.jp">https://www.waida.co.jp</a> ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒460-8685 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

お問い合わせ先 株式会社 和井田製作所 経営企画部

〒506-0824 岐阜県高山市片野町2121番地  
TEL:0577-32-0390 FAX:0577-37-0020 URL <https://www.waida.co.jp>



第90期株主通信  
(上半期のご報告)

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日

錫杖岳(岐阜県高山市奥飛騨温泉郷)

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

第90期上半期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の当社グループは、国内外の好調な市場環境に支えられ、売上・利益ともに前期を上回る結果となりました。

下半期も引き続き高い水準の受注残を抱えた状態でのスタートとなっており、生産体制の再構築など計画達成に向けた取り組みを着実に進めてまいります。また、さらなる企業成長をめざし、欧米市場攻略や日本国際工作機械見本市で発表しましたコンセプトマシンの早期市場投入を進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長  
和井田 光生

## 第90期上半期の概況

第90期上半期（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の当社グループは、国内外の市場環境が第89期後半から急速に回復したことを受け、期初から高い水準の受注残を抱えてのスタートとなりました。また、今期に入りましても受注が堅調に推移していることや、景気の急回復にともなう主要部品の調達難につきましてもある程度目途が立ったことから、2018年8月6日には業績予想の修正（上方修正）について開示を行っております。

結果はほぼ修正開示した計画通りの、売上高は4,059百万円、経常利益は937百万円、当期純利益は656百万円と、上半期としては上場来最高額となりました。

## 第90期の見通し

第90期下半期（2018年10月1日から2019年3月31日まで）の当社業績につきましても、引き続き受注残が高い水準にあることや、受注も総じて底堅い動きであることから、2018年8月6日に開示した修正計画通りに推移するものと予想しております。

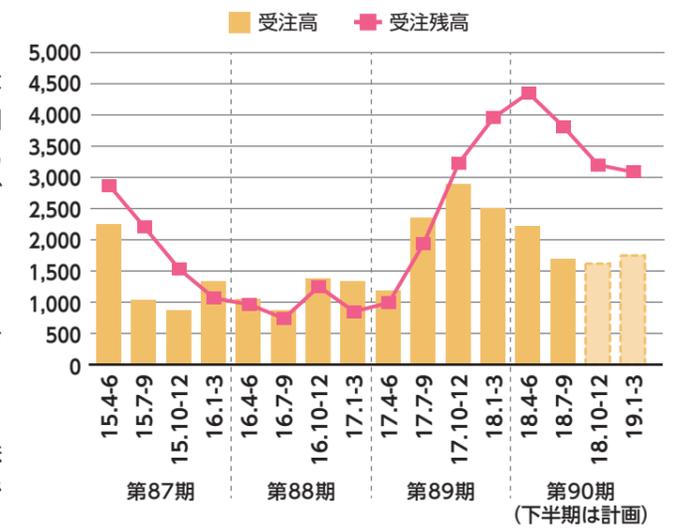
セグメント別の状況につきましては、切削工具関連では、既に来期分の受注が進むなど力強い需要が続いており、引き続き高い水準を維持すると見通しております。金型関連では、貿易摩擦による中国市場への影響は少なからずあるものの一定量の受注は確保できており、金型関連全体の下半期売上高は上半期を上回る見通しです。

経営課題である欧米市場攻略につきましては、今期中に販売実績として一定の成果を見込んでおりますが、さらに来期以降のシェア拡大をめざし、営業展開を進めてまいります。また、新製品開発については、JIMTOF2018（日本国際工作機械見本市）で発表したコンセプトマシンの早期市場投入に取り組んでまいります。来期に向けて米中貿易摩擦や消費税導入にともなう景気への影響など不透明感が増しておりますが、これら経営課題への取り組みを加速させることにより、下半期および来期の受注確保に努めてまいります。

以上の状況をふまえ、第90期通期の売上高は8,151百万円、経常利益は1,666百万円、当期純利益は1,111百万円となる見通しです。

また、配当金につきましては、第90期中間配当金は1株につき18円、第90期期末配当金は1株につき18円（年間では36円）を予定しております。

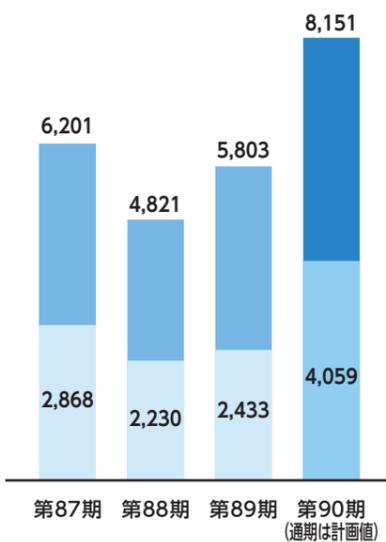
受注高・受注残高の推移(単位:百万円)



## 業績ハイライト

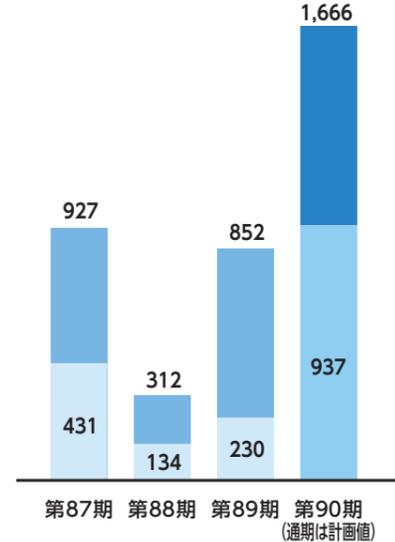
売上高(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



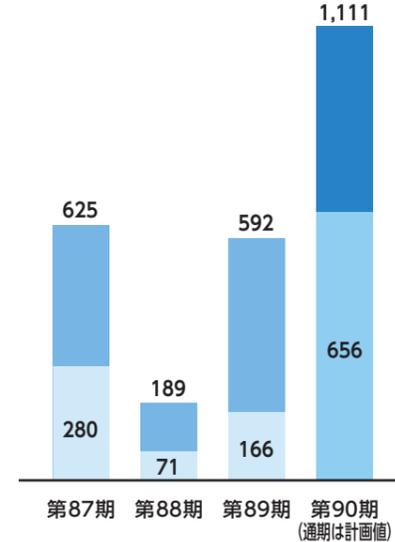
経常利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



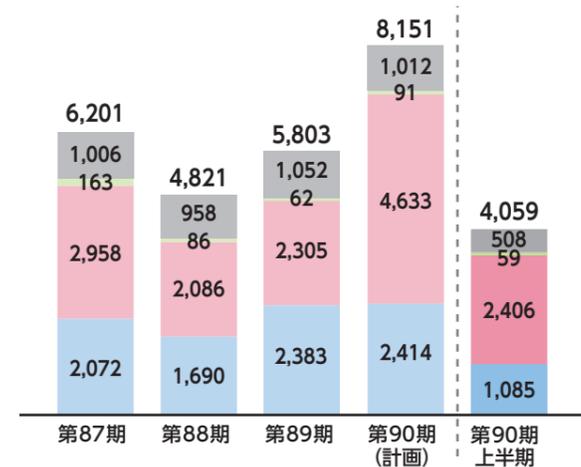
当期純利益(単位:百万円)

■ 上半期 ■ 通期



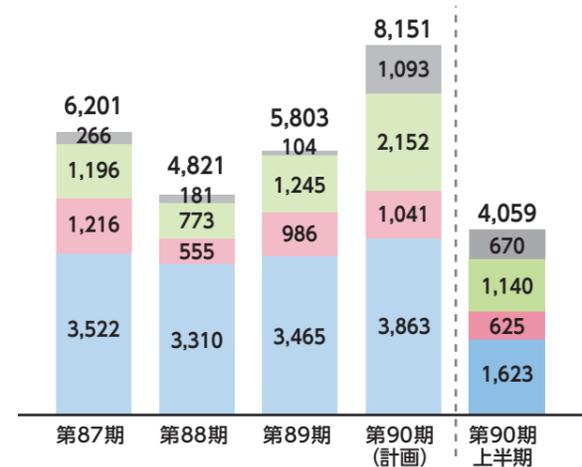
品目別売上高(単位:百万円)

■ 金型関連研削盤 ■ その他の機械  
■ 切削工具関連研削盤 ■ アフターサービス



地域別売上高(最終据付地にて集計)(単位:百万円)

■ 国内 ■ 中国  
■ アジア地域(中国を除く) ■ 欧米等



## トピックス

### IMTS2018に出展いたしました

2018年9月10日～15日にアメリカのシカゴで開催されました「IMTS 2018（シカゴ国際工作機械見本市）」に出展いたしました。

当社製品のアピールを行い、ご来場の皆様に高い関心を持っていただくことができました。

今後もノースカロライナ支店を中心に北中米市場におけるグローバル展開を積極的に進めてまいります。



### JIMTOF2018に出展いたしました

2018年11月1日～6日に東京ビッグサイトで開催されました「JIMTOF2018（日本国際工作機械見本市）」に出展いたしました。

今回は「Waida High Precision Grinding Concepts 2019」をテーマに、2019年から当社がリリースする高精度研削盤のコンセプトマシンを出展いたしました。会場では、各製品のコンセプトをアピールするとともに、お客様から様々なご期待の声を頂戴いたしました。



出展したコンセプトマシン



展示会の様子

※ 記載金額は、表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

※ 本株主通信では「親会社株主に帰属する当期純利益」および「親会社株主に帰属する四半期純利益」を「当期純利益」として表示しております。